

# シリーズ

## 阿久比を歩く ⑦⑧



何やら会話をしている？カモたち

知多市との境界から少し離れてしまつたが、結芽木橋付近から白沢地区の民家の間を通り、遠回りして県道白沢八幡線を目指す。  
梅雨の季節が到来。道沿いにアジサイの花が色付く。赤、青、それとも紫か。完全に咲くまで色がはっきりと分らない不思議な花だ。土が酸性かアルカリ性かで微妙に花の色が変化するらしい。「僕は女性と話すとき、顔がすぐに赤くなつてしま

# 境界線を行く ⑥

あ

ぐ

い

ぶ

ら

り

旅

うんですよね。アルカリ性が強いからでしょうかねえ。友人が首をかしげる。「アルカリ性なら健康と云うことだよ」という私の一言に、友人はニッコリうなずく。  
県道白沢八幡線にぶつかる。道は阿久比町と知多市を二分して続く。高台から草木地区の町並みが一望できる。蓮池配水場と草木グラウンドを横目に進む。四月下旬に農業まつりでこの周辺を訪れた際、田んぼ一面レンゲ草の花が広がっていたが、今は稲の植わった水田へと様変わり。私たちの足音で、オタマジャクシたちが水しぶきを飛ばす。  
ウメやビワの木には、枝が折れそうなほど、たわわに実がなる。カラスがビワの実を口ばしで突く。  
乙ヶ脇下池の方から飛んできたカモ五羽が、水田に降り立つ場面に出くわす。稲と稲の間を器用に、すり抜けるようにして泳ぐ。  
「グワツ、グワツ」「グアー、グアー」。「やつら、何話してるんでしょうね」「え・・・」。「気になる

なあ。人が話していることが気になつてしょうがないんですよね」。「あそこにいるのは人じゃなくて、カモだよ」。「そうなんですけどね（ブツブツ・・・）」。カモたちはしばらくすると別の場所に飛び立つ。  
愛知用水水路と平行に進む。進路方向右手に知多市内にある佐布里池が見える。水の色は濃い緑。大きな池で眺めもいい。静かな池を遠くから眺める。  
用水路に沿えば、境界線を行けそうだが、危険を伴うので安全な道を歩く。県道西尾知多線に出て、多賀神社の前まで進み、今回のぶらり旅を終えた。  
いよいよゴールが見えてきた。「ファイター」。「一発」。次回に備え、気合いを入れて友人と別れた。



白沢八幡線から見える草木地区